



議会だより

〔題字〕 村上 一枝さん（下真崎行政区）

第127号

かわさき

平成29年8月1日発行
福岡県川崎町

心は青年!!
ハッラツプレー



▲熟年ソフト・ナイターリーグ
（ピッチャーの紹介はP16）

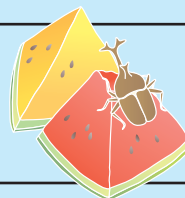


6月
定例会議

委員会構成が変わりました……………	2
中学校統合推進事業など計上 ～ 補正予算 ～……………	3
8人の議員が登壇 ～ 一般質問 ～……………	5

今年度の議会だよりの表紙は、《大好き かわさき町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください
〔お問合わせ〕 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



委員会構成が変わりました

委員会条例で各委員会の任期が2年と定められているため、平成29年5月10日の本会議において委員の選任と正副委員長の選挙がおこなわれました。新しい委員の任期は平成31年4月30日までです。

【総務常任委員会】

町全体の計画、財政、防災などを担当



◎松岡 久代 ◎西山 賢俊
櫻井 英夫 原 節雄
谷口 武雄

【民生文教常任委員会】

教育、健康、福祉、環境などを担当



寺田 響 樋口 秀隆 手嶋 真由美
◎千葉 加代子 ◎繁永 英樹

【建設産業常任委員会】

道路、団地、商業、農業、観光、水道などを担当



手嶋 康德 見月 勸 奈木野 康德
◎小田 卓 ◎大谷 春清

【予算決算常任委員会】

予算・決算などを担当

◎原 節雄 ◎櫻井 英夫

議長を除く議員13名

※◎…委員長 ○…副委員長を表記しています

豪雨被災地の添田町・朝倉市へ義援金

7月の豪雨により被害を受けた同じ田川郡の添田町と被害の大きい朝倉市へそれぞれ10万円の義援金を贈ることを決定し、議員全員から集めた義援金を持って議長が両市町を訪問しました。

被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。



小中学校にエアコンを

町内の小中学校に、猛暑期間リースエアコンの設置を求める決議が議員発議で提出され、全会一致で可決されました。町長からは2018年度の当初予算に本格設置の予算を盛り込むという回答がありました。

川崎町地域防災センター設置

防災・減災活動の拠点、災害発生時の緊急用物資確保のためです。

鳥獣害防止に関する事項を追加

このたび森林法に基づき10年計画で川崎町森林整備計画が作成されました。

この計画は、森林機能を維持増進することが目的です。今回新たに森林保護に関する事項に鳥獣害防止に関する事項が追加されました。

職員定数7人減

職員の退職や人事異動に伴い、定数を変更しました。「職員の定数が252人から7人減の245人となりました」

回収見込みのない債権を放棄

債権は町の財産であり、安易な放棄は認められませんが、条例に基づき、行方不明、破産者等、また、強制執行等の法的手段を尽くしても、なお回収の見込みのない債権を放棄しました。内容は以下のとおりです。

28年度中は	住宅使用料 汚水施設使用料 給食費負担金	20件 3件 52件	967万円 73万円 214万円	合計75件 1253万円	でした。
--------	----------------------------	------------------	------------------------	-----------------	------

中学校統合推進事業などを計上

一般会計補正予算(第1号)は、中学校統合推進事業などの計上により、1億7649万円の増額補正となりました。各会計の補正予算の主な内容は次のとおりです。

一般会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の額
105億5846万円	1億7649万円	107億3495万円

農産物直売所改善事業	566万円
かわさきまちプレミアム付き商品券事業	280万円
中学校統合推進事業	1億5378万円



特別会計補正予算

下記3つの会計は、平成28年度の歳入が歳出に対し不足したので、平成29年度の歳入をくり上げてこれに充てるため専決処分を行いました。

学校給食センター(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の額
1億7087万円	336万円	1億7423万円

住宅新築資金等貸付事業(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の額
2025万円	5億5395万円	5億7420万円

国民健康保険事業勘定(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の額
25億6666万円	5億6557万円	31億3223万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

平成29年度 第2回川崎町議会(5月会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果												関連記事			
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	千葉	谷口	小田	見月	原	手嶋康	櫻井		寺田	奈木野	樋口
報告第1号	専決処分の報告について(川崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした															
報告第2号	専決処分の報告について(川崎町税条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした															
議案第1号	川崎町固定資産評価員の選任について(沖康弘税務課長)	(同意) 簡易表決															
選挙第3号	田川地区水道企業団議会議員選挙	(当選) 北代俊雄 議員															
選挙第4号	田川郡東部環境衛生施設組合議会議員選挙	(当選) 北代俊雄 議員															
選挙第5号	福岡県田川地区消防組合議会議員選挙	(当選) 樋口秀隆 議員															

平成29年度 第3回川崎町議会(6月定例会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果												関連記事
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	千葉	谷口	小田	見月	原	手嶋康	櫻井	
報告第3号	専決処分の報告について(平成29年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第1号))	報告のため採決はありませんでした												P3
報告第4号	専決処分の報告について(平成29年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号))	報告のため採決はありませんでした												P3
報告第5号	専決処分の報告について(平成29年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号))	報告のため採決はありませんでした												P3
報告第6号	平成28年度川崎町継続費繰越計算書について	報告のため採決はありませんでした												
報告第7号	平成28年度川崎町繰越明許費繰越計算書について	報告のため採決はありませんでした												
報告第8号	放棄した債権の報告について	報告のため採決はありませんでした												P3
発議第1号	町内小中学校の猛暑期間におけるリースエアコン設置を求める決議	(可決) 簡易表決												P3
議案第2号	和解及び損害賠償の額の決定について	(可決) 簡易表決												
議案第3号	川崎町地域防災センター設置に関する条例の制定について	(可決) 簡易表決												P3
議案第4号	川崎町職員定数条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決												P3
議案第5号	川崎町森林整備計画について	(可決) 簡易表決												P3
議案第6号	平成29年度川崎町一般会計補正予算(第1号)について	(可決) 簡易表決												P3

賛否表の表示は、○賛成、●反対、㊦欠席、㊧退席、㊨除斥（じょせき）となっています。
※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。
※除斥とは…利害関係のある議員を、その議案の審議に参加させないことです。

一般質問 よりよいまちづくりをめざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をただすことです。

問う!! 町政を



寺田 響 議員

問 学童クラブの運営改善を

答 民間委託について検討する

議員 児童福祉法の改正において小学6年生までが学童対象になり、学童に通う児童数は年々増加傾向です。

現在、川崎町の学童クラブ運営主体は保護者会です。全国的にこの保護者会が運営主体というのは減少傾向です。働いている保護者では運営負担が大きく、学童内での急激な変化(指導員やアルバイトが急遽辞めた場合の人員確保)、いじめや怪我などの問題が起きた場合は後手の処理となってしまいます。

現場での大半を担っている指導員やアルバイトの待遇改善も含め、常に問題に取り組む事が出来る団体もしくは組織に運営主体を任せるべきと感じますが。

町長 現在は、保護者会に国県の基準額より低い利用料で委託していることから、民間委託を行う

ことで利用者の負担増につながる等の問題が生じますので、近隣市町村の動向や保護者会との協議等を行いながら学童クラブの民間委託について、今後十分に検討し慎重に進めていきたいと思います。

問 学校のトイレを洋式に整備できるように考えています

議員 現在の生活スタイルは、ほぼ洋式トイレが主流となっています。保育園や幼稚園でも洋式トイレが主流となっており、全国の小学校のトイレの割合で洋式を整備している学校が80%以上です。

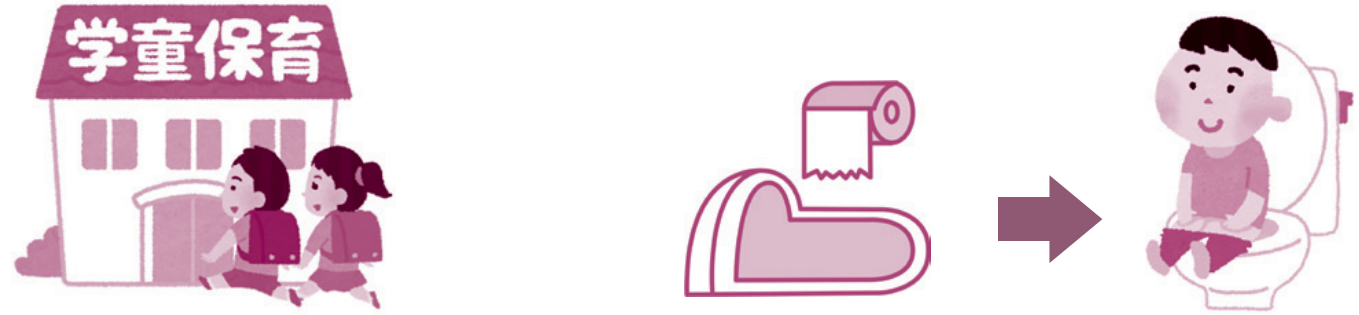
川崎町の全小学校を調査した結果、洋式トイレを整備している学校は6割にも満たない状況です。

現在、川崎町の保育園・幼稚園は洋式トイレです。小学校に上がった途端和式トイレになると抵抗があるのは当たり前のことです。

その抵抗感からトイレに行きたくない児童が増え、体調不良を起こすという事例が報告されています。改修工事に時間、費用がかかるなら簡易的にでも構いません、学校内の和式トイレが二つあるのであれば一つは洋式トイレを整備する必要があると考えますが。

教育長 議員ご指摘のように、現在のトイレにかかわる生活様式の主流というのは、洋式になっております。

PTAの連合会からも強い要望内容でありますので、トイレ改修については時代に合った洋式トイレが整備できるよう頑張っていきたいと考えております。





手嶋 真由美 議員

問 就学援助の入学前の支給を

答 他町村と見合わせて検討

議員 文部科学省はランドセルの購入など、小学校入学準備のために多額のお金を用意しなくて済むように、入学前の3月以前の支給を可能とする事を発表しましたが、本町はどうしますか。

教育長 要保護児童については入学前に支給しています。

準要保護児童については、6月以降支給としてます。

議員 今回の改正のポイントは、ランドセルなどを購入する費用の増額と就学予定者の保護者が加えられたこと、その対応はできていますか。

教育長 就学前の就学援助については、他町村と見合わせて検討させていただきます。



問 学校でのがん教育について具体的な計画は

答 計画的に実施しているが更に検討して行く

議員 今年度から、がんに対する正確な理解を深め、命の大切さを学ぶがん教育が展開されます。本町での具体的な計画はありますか。

教育長 学習指導要領に基づき計画的にやっています。

今後さらに保健体育のみならず、講師を呼んでの全校集会など検討させていただきたい。

議員 がん教育の必要性について教育長はどう考えてますか。

教育長 がん教育は、非常に重要だと考えています。

日常生活の分野としての重要性を鑑みながら、がん教育としては、一層内容を工夫して取り組んでいきたいと思っています。



問 災害時、防災センター以外での飲料の確保は

答 災害対策本部からの出動により飲料を確保

議員 災害時、避難所等において飲料の確保が重要ですが、防災センター以外での飲料の確保は考えていますか。

町長 災害時に避難所を開設した場合、災害対策本部の避難所運営班や食糧支援班等の出動により避難者への飲料の確保をします。

議員 災害時に被災者に対し無料で飲料提供する災害支援型自動販売機があります。

災害対応型紙カップ式自販機の設置及び災害協定の締結を検討すべきではないでしょうか。

町長 今後充分検討させていただきます。

議員 町内に13の避難場所や避難所がありますが、どこにも表示がありません。看板の設置が必要ではないでしょうか。

町長 設置については、今後検討させていただきたいと思います。



谷口 武雄 議員

問 食育推進について

答 食育施策を推進する義務があります

議員 2005年に成立した食育基本法は国民に健全な食生活の実現に努められるよう求める一方、国や自治体に食育に対する施策を推進する義務を課しております。区切らせて質問をさせていただきます。

教育長、6月が食育月間だという国の指定を知っておりましたか。

教育長 2005年、小泉内閣の時に知徳体に食を入れると知徳体食と言う大きなことがらが言われました。それを法律化されたのが、食育基本法と私は認識しております。それから、6月が食育月間ということについては認識しています。

議員 平成16年3月に決定した第3次食育推進基本計画、平成16年から平成20年までの5カ年の策定はされましたか。

教育長 平成16年から平成20年までの頃については資料を探しましたが見つかりません。

したがって策定はしていないと私は考えております。

議員 食育に関心を持つ人の割合を上昇される設定とあります。

川崎町の関心度は何%ですか。

教育長 非常に高いと考えておりますが、関心が何%であるかは確認していません。



議員 朝食を欠食する子どもの割合の調査をした事がありますか。

教育長 全国学力学習状況調査の中で、朝食を毎日食べているのは小学校で81.4%、中学校では84%でした。

議員 学校給食では地場産業や国産食材を使用する割合を増やしておられますか。

教育長 町内の食材を扱う組合を通じて納入させて頂いております。

また食材の野菜は筑豊青果市場を通しております。

議員 食育を中心的に担う公立小中学校の栄養教諭、配置について伺います。

教育長 現在、川崎町では給食センターが一つになっていますので栄養教諭は一人です。

その他、将来の川崎町の財政健全化について質問しました。





問 町独自の子育て支援政策は

答 今後真剣に考えていく

議員 少子化の対策を基本とする子育て新政策の改善がなされている中で、町長も施政方針で述べられましたように子育て支援の充実、人を育てるための環境整備を行い人口減への対策をすることなどがございました。

川崎町でも無料妊婦健診の回数増加を約束、実行したのを皮切りに現在まで給食費の値下げ、義務教育の期間中の医療費無料化などの支援政策が実行されてきました。各自治体の地域色あふれる独自の発想や企画によって多種多様な手当てがなされており、お母さん方もよい子育て支援政策には敏感に反応し、居住区域や勤務区域を選ぶ傾向が目立っています。核家族化が進み、貧困家庭や片親家庭が多くなり、子育ても一昔前の大家族形式と大きな変化が生じてきたように思われ、川崎町では子どもの病気が働いている親にとって、最大の難関になることを知りました。

子どもが病気になると、保育園等には行けないので病気が治るまではそばにいて、世話をしなければならず、仕事を休んだりできない人がほとんどだと思います。

これは、男女共同参画を打ち出している自治体にとっても、大きく重要な問題であると思います。

国の対策として、病児病後児保育というものがありますが、よく制度が変わり、その趣旨の理解が難しいと感じました。

病児保育とは、子どもの病中病後で集団保育が困難な間、医療機関や保育所などに併設されたスペースで保育や看護を行う保育サービスなのですが、まだまだ具体策は各自治体任せであり、安心にはほど遠い状態です。全般ではゼロから5歳児に対する通常外保育整備が急務であると言われていました。

川崎においては、田川市が1つだけ運営している、病児病後児保育施設、保育室ヒマワリを利用するしかなく、利用に際しても高額で、事前に登録を必要とし、利用時には必ず病院に行き、当日の医師の連絡票を提出することなどが義務づけられています。仕事に行くための病児預かり機関なのに意味をなしておらず、その証として川崎の町民の利用率は0%です。

町の政策として、病院の連絡票代を助成していますが、とても面倒なうえに、受理後調査を行うなど、かなり敷居が高い状態です。このような

背景から、問題の打開には、町内の病院に完璧な助成をして役を担ってもらうか、公設の病院か保育園で関係機関と連携をとって行うか。民間の病児デイサービスの事業者の利用に助成金を出す、または、医療機関との連携で在宅訪問で代用するなどが可能ではないかと思われます。

県内に70以上も病児保育施設があるのに、なぜ川崎が子育て支援や人口に最も関連のあるサービスをしていないのか、川崎の各子育て支援政策が県の推奨数値を大きく下回っています。子どもと子育て世代を守っていくうえで厳しい質問となりますが、必須課題として、町長の心意気を伺いたいと思います。

町長 地域子育て支援については、今後も子育て世代のニーズに合ったさまざまなサービスに取り組んでまいりたいというふうに考えております。

今、病後児保育の問題については、まだまだ充分ではないということが今御指摘の中で分かりましたので、あと町の財政等も考えながら、どういうことだったらできるのか等については、これからちょっと真剣に考えていかなければいけないというふうに思っております。



問 町立同和保育所の民営化は

答 避けて通ることは出来ないと認識

議員 組織が無認可保育所「しおん園」を、血のにじむ保育実践の場として、保育所の条件整備の要求を積み上げて同和保育所を設立。平成15年前後では定員210名、時代の変遷とともに、現在の定員は100名、入所数は98名とお聞きしております。

平成23年、手嶋町長の時代に民営化に向けての話がありました。町長も私も4年間のブランクがあり、その間に同和保育所が建設されましたことに対し、町長のお気持ちをお伺いします。

町長 昭和48年町立同和保育所が建設された時は、私も当時町議をしていましたので、いきさつは全部承知しております。その当時は公立の保育所というのが必要であったと思っています。そして、公立の同和保育所として、これまで一定程度の役割を果たしてきたことも承知しています。

一期目の町長の時、建設から38年経過し、老朽化した施設では子どもたちの為に良くないとすれば施設を改善する必要があったと考えておりました。公立は補助金が一切つかない状況から、民営化していけば、国・県の補助金がもらえることもあって、民営化を打ち出し協議もさせていただいた中、平成23年に選挙に落選したことで平成25年に約4億819万円が予算計上され建設されております。当面民営化等についての考え方を持っておりません

が、将来的な状況と香春町も民営化している状況、時代の趨勢(すうせい)を見極め対応することも重要と思っております。

議員 一般財源(単費)持ち出しを同和保育所と民間保育園8園との比較は。

町長 今、ご指摘の同和保育所と民間保育園経費額は、平成27年度の一般財源の決算額では民間保育園8園で約1億2100万円、町立同和保育所の場合、約1億500万円です。

議員 今年の予算書を見た限り、同和保育所は一般財源1億1400万、100名定員で入所園児98名、園児1名にかかる費用約116万円でした。私立保育園8園で一般財源1億6千万円を610名で割ると約26万9千円、幼稚園は120名定員に53名しかおらず一般財源約5160万円、園児1名に対し、97万3千円です。これの原因が何か考える必要があると思います。

町長 民間保育園の場合、本当に皆さんが大変ご苦労し、子どもの保育にあたっていることについて、本当に頭の下がる思いをいたしております。

私も保育園の皆さんの保育士の集まり「おさなご会」に参加をさせていただいた時もそういう話をしたことを記憶しております。ご指摘の同和保育所、幼稚園、それから民間8園の状況、これは一番大きいのは人件費の差だと認識いたしております。

議員 嘉麻市では9カ所の公立保育所のうち、私立4カ園が数園を引き受け、残り2カ園は手を挙げてくれるのを待っています。香春町も公立2カ園を民営化へ、福智町は平成31年から順次民営化へ移行するそうです。財政的な面が非常に濃いと思います。町長の考えをはっきりお聞きかせください。

町長 町の将来的状況等を考えたら避けて通ることは出来ないと思っております。いつどのような形で進めて行くのか今後の課題として残りますが、方向性として、もういかざるをえないと思う状況だと認識しています。

議員 「おさなご会」は、保育士が頑張って立ち上げ45年近くなります。町長は措置権者であり、町長の子もだと思っております。病児・病児後保育に真剣に取り組んでいただけることを望んでいます。

町長 子どもが病気になり、誰も見てくれる人がいないという時に子どもを持つ親としては、自分は仕事を持っている・自分は休む訳にはいかない等、色々なジレンマがあって、苦悩を抱えながら子育てしているということが、うかがえるわけであります。よって、そういったお母さん方をどう救済するのかというのは、まさに行政の責任であると思っております。今後どんな対応が出来るのか真剣に検討していきたいと思っております。





問 町道認定時の車の通行量は

答 町道になっても通行量は変わらない

議員 農道を町道に認定したときの車の通行量はどのくらいか。

また、通学路でもあり、子どもの通学には農道の中央を歩くよう指導していたが、今の季節はマムシが多いので道路の端の歩行は危険です。安全対策は講じているのか。

建設課長 今回は冠水対策で県に事業申請をしたという経緯があり、田川市からも4、5年前から川崎町に冠水対策の要望がありました。

議員 私が訊ねてる場所が違う。農道西田公門原線のことを聞いている。

現にマムシに咬まれて、入院した人が居る。町道に昇格すると道路の中央を子どもが歩くことができないが、この路側の草刈りの管理等、安全対策はするのか。

建設課長 個人の所有ですから所有者に自己管理していただきます。

町長 農道が町道になったとしても車の通行量は変わらないと認識しています。

議員 左右民有地なので、安全に路側通行できるように管理してください。

また、町道になって速度表示、橋の通行可能重量制限など、維持と地域住民の安全に通行できるように努めてください。

問 起債の返還額の最大時期は

答 平成37年度に13億9千万円を見込んでいる

議員 町の起債、償還は全ての起債、辺地債を含めて財政課長、ピーク時の返済額と年度はいつですか。

財政課長 一番長い起債は、25年があります。返済の残高は、25年から33年までが140億円前後の見込みで、平成32年度で141億円を見込んでいます。

償還の単年度最高額は、平成37年度に13億9000万円を見込んでいます。

議員 現起債の積み立て、大峰団地の関係、豊州団地も建替え、三井開発の起債もまだ残ってますね。起債の残高と償還の詳しい資料をいただき、今度総務委員会の中で調査させていただきます。

37年度の起債の償還金13億円に対し、交付税をどれくらい見込んでいるですか。

財政課長 10年後の交付税は把握していません。17年度の普通交付税は35億5000万で、平成28年度は29億円でした。人口減との比率で減額の可能性はあると思います。

議員 人口減は、確実に年間330名くらい自然減も含めて町の人口は減っています。

交付税は、国政調査が完了した時その人口に対して確定します。ざっと計算しても3000人は人口減、これに伴い交付税の減と起債の償還。

職員数、再任用は全額単費、職員の定年を65歳まで延長すると交付税が加算されるが、退職金が5年間で60歳定年時より下がる可能性があり難しい。10年後の職員定数と交付税、償還金全体を把握し町民の支持を得られるような方法で頑張っていたきたい。

問 農道台帳確認後の対策は

答 農道台帳を地区毎に調べる計画を進めている

議員 農道の管理は全て終わりましたか。

農林振興課長 3月に指摘を受けまして、29年度から農道台帳と現状をブロックごとに分けて地区ごとに調べる計画を進めています。

議員 早急に調べて漏れの無いようにおこなってください。

大ケ原の佐藤牧場側を通っている道は農道ですか、町道ですか。

農林振興課長 農道です。

議員 農道であれば中身を調査し農道に民有地が存在しているようです。農業者が制限を受けない地域の農道であってほしいと願います。

除草作業に従事している非常勤職員は何人ですか。

建設課長 6月から緊急雇用対策で6名、11月まで採用しています。

議員 6名では管理が追い付かない。地区の隣組をお願いして、管理費支払ってお願いしてはいかがですか。

また県道は朝夕信号で混むため裏通りの最近交通量が多くなっています。

特に原方、手嶋さんの近くなどいつ事故が起きてもおかしくない。年次計画を立て道路拡幅の検討が必要だと思います。

町長 道路管理は課長が申しあげました6人の嘱託職員と再任用職員も草刈り作業を行っている状況です。地域の方々もボランティアで草刈り協力いただきながら迷惑のかからない対応をしていきます。



問 行政区・地縁団体の不祥事防止を

答 文書等で注意喚起を促す

議員 田原地縁団体の会計が失踪し、6千6百万円が不明との新聞報道がありました。町の行政区・地縁団体への指導監督はどうなっていますか？

また、その方は人権擁護委員でもあります。その後の身分はどうなりますか。

町長 町に地縁団体に対する指導監督権は無く、何もしていません。人権擁護委員の問題は、法務局に対応を照会中で指示を待っているところです。

議員 行政区と地縁団体は一体不可分であり、町は何らかの指導監督をすべきではないですか。

町長 このような不祥事は町のイメージダウンであり、再発防止に向けて文書等で注意喚起をしたいと思います。

問 公有財産の有効活用を

答 全財産を捕捉し有効活用にも努める

議員 旧西田原公園、真崎の焼却場用地など宙ぶらりんな公有財産が散在しています。有効活用のためのプランを策定する必要はありませんか。

町長 42行政区中、14行政区は地縁団体を設立。その際、町に返還された土地もありますので、それらも全て捕捉して公有財産の有効活用プランを考えていきたいと思っています。

問 観光振興プランの策定を

答 城山こどもの森の完成後に着手

議員 本町の観光施策は始まったばかり。この際、観光振興プランを策定し計画的に政策推進を図ってはどうか。

町長 平成30年度完成を目途に城山こどもの森を整備します。その後、観光振興プラン策定に取り組みます。

議員 順序が逆転していますが。

問 解放学級と国歌斉唱での児童座り込みの因果関係は

答 承知していない

議員 先の小学校卒業式で、「国歌斉唱で座り込む児童がいるが、ご承知置きを。解放学級の影響

による」との説明が待機中にありました。承知していますか。町が主催する解放学級でそのような思想教育が行われれば問題です。

教育長 国旗、国歌の尊重については学習指導要領に明記されているとおり指導しています。指摘の点について、校長からの報告は届いておりません。

問 教職員が今も出勤簿なのは、なぜ？

答 給与法に則り出勤簿を使用

議員 タイムカードで出・退勤を管理する時代になぜ教職員のみがいまだに出勤簿なんですか。改善すべきではないですか。

教育長 役場は既にタイムカードですが、学校は給与法に基いて出勤簿で管理しています。福岡県の方針、通達にあわせて変更していきたいと思います。



▲西田原公園



千葉 加代子 議員

問 身寄りのない高齢者の死後事務対策は

答 行政区に依頼し、困難な場合は役場に対応

議員 孤独死で身寄りがいない場合、火葬、葬儀等はどう対処されていますか。

町長 親族等がいらないのか調査し、確認が出来ない場合、火葬や葬儀は、行政区にお願いしますが、難しい場合は、役場で執り行います。遺骨等は、一時的に愛光園の納骨堂で預かってもらいます。葬祭費用は、生活保護費や遺留金品等で賄います。

議員 「やすらぎ支援事業」では、判断能力のあるうちに、契約を結び、判断能力が低下した時点で、日常生活の支援、任意後見制度に移行します。

本町での導入は考えられていますか。

町長 支援の連続性が確保される先進的な取組みで、制度の導入については、社協等とも協議し、内容を精査して検討していきたいと思っています。

議員 独居老人の増加に伴い、エンディングノートを作成し配布する自治体が増えていますが、本町でも検討していただけますか。

町長 最期に息をひきとる時、自分の意思を尊重してもらうのは、大事なことだと思います。

どういう方法があるのか、法的な問題も含めて研究させていただきながら対応を検討したいと思います。

問 認知症の予防対策を

答 公民館単位の学習会等を開催

議員 認知症は、5つの予防対策で、半数の方が改善したという結果があります。

住民のみなさんに周知の取組みをしていただきたいのですが

町長 安宅区の認知症カフェでカリキュラムとして取り入れ実践しています。

今後は、公民館単位の学習会や認知症カフェと他地域での開催を積極的に働きかけていきたいです。また広報でも、情報を周知してまいります。



問 ひとり親家庭の実態把握は

答 児童扶養手当の申請時に聞き取り

議員 ひとり親、特に母子家庭の場合、生活に困窮しているケースが多く、ニーズにあった適切な情報提供や、関係者、学校、福祉との連携や共有が大切です。

本町では、準要保護世帯についての周知は、誠心誠意やられていますか。

社会福祉課長 広報紙、パンフレット等で周知させていただいていますので、公平に皆さんに周知が届いていると思います。

議員 学童クラブの利用料について助成は出来ないのでしょうか。

ひとり親家庭で、本当に必要な家庭が、お金のために利用できないケースがあります。

町長 学童クラブの運営は、現在、保護者会で組織している連絡会に委託をしています。県の補助事業で利用減免事業がありますが、すぐには施行できません。学童保育のあり方も検討しながら進めていきたいと思っています。

問 結婚祝金、出産祝金の創設を

答 今後、検討したい

議員 郡内の町村には、結婚や出産に対する祝金の制度がありますが、若者の定住人口をふやすために結婚祝金、出産祝金を考えていただきたいのですが。

町長 現在、本町では、低所得者の婚姻に伴う新生活を支援するため、生活費及び引越費用の一部を助成しています。

今後は、若い世代の結婚、出産、子育ての希望が叶えられる環境づくりが必要と考えておりますので、どういった対応ができるか、今後検討してまいりたいと思っています。

もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します



議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



防災・減災に向けての取り組みを調査

総務常任委員会

職員の通勤手当の算定方法を調査

職員の通勤手当については、従来は各職員の自家用車の距離メーターにて最短距離を測り通勤手当を支給していましたが、平成29年度からは指定した2つのインターネット地図サイトにて距離を計測し、短いほうの距離で通勤手当を支給するように変更しました。

ただし、通勤経路は通勤手当だけでなく、通勤途中の事故を補償する公務災害の要件にも該当するため、狭い道や渋滞を避けるために別の経路で通勤する場合は、その経路についても届け出させることとしたようです。

委員からは、定期的な調査を望む声もあり、他市町村の状況を見ながら検討するとの回答をいただきました。

地域の防災・減災の拠点となることを目的に建設された地域防災センターの現地調査を行いました。

地域防災センターの構造は、鉄骨造、平屋建て、耐火構造となっており、総面積は268.7㎡。総事業費は旧給食センターの除却費用も合わせて1億1239万5600円です。

施設の機能としては、①消防団の会議や研修に活用する会議室、②災害時の避難者への非常備食糧を備蓄する備蓄倉庫、③災害時の応急資材を保管する倉庫、④消防司令車等を格納する車庫、以上の4つの機能を持っています。

委員会からは施設の入り口に段差があり、転んで怪我をするおそれがあるので、色を塗るなどの対策をするよう要望しました。

また、当日の委員会では4月14日を防災の日と定めたことを契機に、町民の防災意識や災害時の職員の対応能力の向上を目的として、安宅地区で開催された避難訓練の概要について説明がありました。

訓練の内容としては、安宅交流センターを1次避難場所と定め、防災無線等で避難勧告を呼びかけ、避難誘導を行いました。その後、コミュニティセンターへ2次避難を行い、備蓄食料品の試食をしていただき、質疑応答後、解散をしております。

委員からは、防災無線の難聴地域の解消、避難訓練等開催時の各議員への周知、町内で危険箇所指定されている箇所での災害を想定した避難訓練の実施、防災会議の定期的な開催などを要望いたしました。



▲完成した地域防災センター



鎌倉時代からの城山遺跡調査

民生文教常任委員会

3月23日、発掘調査の説明を受けました。木城の焼却場の上に、田川市側から言うと田尻山、川崎側から言うと城山と二つの名称の山があり、そこに曲輪(くるわ)5カ所と堀切1カ所が良好な状態で残っています。1358年頃、鎌倉時代の終わりから室町時代にかけて築城され、豊臣秀吉九州進出時1587年に岩石城がつぶれ、ここも家来が全部逃げて城主だけが残し、切腹して終わったそうです。事業完成までに約7000万円かかり、町民の負担となるので、財政運営や費用対効果をきちんと見きわめて事業を進めること、ボランティアでの維持管理には限度があり、条例を制定し予算化のうえ管理に当たるよう要望しました。

包括支援センターで懇談会

3月23日、包括支援センターで懇談会を行い、ケアプランナー等から、黒字運営にも関わらず4年間給料が上がっておらず、報酬見直しの要望がありました。独居者死亡後の処理や納骨、訪問時の立地条件や内容の困難な状況を理解して欲しい。また、自動車免許証返還の代替手立てを望む声もありました。

愛光園入所者との意見交換

3月31日、愛光園職員8人、入所者12人と懇談会を行い、民営化反対や音楽会等の開催、軒先、屋外洗い場等改修、入所審査が厳し過ぎる等の意見要望があり、現在は一部改善されています。

福祉センター工事説明

4月12日、川崎町総合福祉センター除去工事説明を受けました。昭和52年建築(約39年経過)で、老朽化が進み外壁等の剥離やシロアリも確認され危険な状況



▲愛光園との懇談会

で、工事中の駐車場確保や財源説明、議会の意見反映などを協議して承認しました。

川崎中学校の現地調査と「きらり」を訪問

4月24日、川崎中学校の現地調査を行い、学校の基本目標や生徒の個人目標設定に向けた取り組みをうかがいました。また、学力向上のため朝自習、テスト、補充学習を行い、今の3年生が2年生時の最後のフクト偏差値が49で、田川郡内中学校で一番だったそうです。

なお、エアコン設置が引き延ばしになっており、受験に向けた夏休みの授業では、空調がなければ朝の1、2時間までが限度との意見がありました。今年も更なる猛暑が予測されるため、議会としても引き続きリースエアコン設置を強く要望していきます。

同日、福智町図書館、歴史資料館を視察、その後、放課後デイサービス事業、「児童発達支援センターきらり」に調査にうかがいました。本事業は、知的障がい者と発達障がいの小学生から高校生までを対象(身体障がい児は、施設構造や医師確保の関係で受け入れていません)としており、発達支援を目的としているため、保護者の就労が入所条件ではなく、利用する場合は受給者証が必要です。各市町村の相談員(川崎町は社協)に計画書を作成してもらい、役場で手続をすれば、受給者証が発行されます。定員24名(125%まで受入可)、障がいの程度により週利用回数が決められ、1日平均利用者約22人(多い時は約27、8人)です。利用料は、世帯収入により0円、4600円、3万7200円の3段階で、送迎も行っています。

また、民間事業者は黒字ですが、公営では、サービスに限られるうえに赤字となるようで、この結果を踏まえ、行政、保護者、地域が一体となって児童を支えていく必要性を感じました。

議会の傍聴においでください

次回定例会(予定)

- ◎9月 5日…本会議(初日)
- ◎9月 8日…本会議(中日)
- ◎9月15日…本会議(一般質問)
- ◎9月19日…本会議(最終日)

川崎町議会ホームページ <http://www.gikai-kawasaki.com/>



耕作放棄地解消に向けて

建設産業常任委員会

農業委員会は、7月20日から農業委員、農地利用最適化推進委員での新体制となり、遊休農地また荒廃農地の解消に向け取り組んでいきたい。

農林振興係は、人農地プランに取り組んでおり、今後は取り組み地区を増やしていきたい。

当委員会より、農地利用最適化推進委員の活動について、地域にあった運用をオリジナルで考え、先行しているところを参考にしつつ、独自に川崎方式を確立していただきたい。

農地利用最適化推進委員の委員会開催に規定がないとのことですが、開始の年であるため、農業委員会と同日に時間差を設け開催するなど提案しました。農業委員会からも、1年目であり協議や研修が必要であるとの考えを聞くことができました。

有害鳥獣対策を調査

前回の現地調査の際、罠設置表示が罠に近すぎ危険であると指摘したところ、早急に改善がおこなわれました。

忌避剤やアニマルセンサーは、あまり効果が出ていないと報告を受け、アニマルセンサーについてはメーカーと使用者、役場職員が十分効果が得られるよう研修する必要性を言及しました。

また、現地に放置された古い箱罠についても回収し、修理等整備をおこなっていただきたい。

農作物の被害を軽減するため引き続きワイヤーメッシュを設置し、新たに箱罠5基、くくり罠1基、小型動物用の罠を購入する予定であり、若い方に駆除員になっていただくため狩猟免許習得事前講習会の助成も引き続きおこなうと報告を受けました。

当委員会が要望していましたジビエ料理について、執行部は解体処理免許、食肉販売許可等の問題があり

検討をおこなっていないことに対し、総合戦略の中に謳われているジビエについて、最善の努力を行っていただきたいと再度要望しました。



▲放置されている罠

※忌避剤とは、対象動物の嫌いな臭いや味のある薬が入っています。



▲忌避剤の効果なくイノシシが通った跡

議会だより編集特別委員会研修 よりよい「議会だより」を目指して



7月6日、東京の全国町村議員会館で開催された「平成29年度町村議会広報クリニック」に委員全員で参加しました。講師は芳野政明氏でした。

本町は、第126号(5月1日発行)を評価していただきました。

一般質問コーナーや特集、委員会レポート、追跡レポートは好企画ということでしたが、レイアウトや余白、見出しのつけ方に、もっと習熟するよう指摘を受けました。これからも愛される議会広報をお届けできるよう頑張ります。

今回の
主人公



いけがみ よしひこ
池上 義彦 さん (77才)
(森安区)

- **ソフトボール暦・ポジション**
35年 ピッチャー（チーム サンフラワー）
80才まで現役ピッチャーが目標
- **ソフトボールをはじめたきっかけは？**
「田川青果市場」在職中、チームに入った
- **ソフトボールをしていて楽しいことは？**
勝ったときの喜び、負けたときの悔しさ。年2回の親睦会
- **ソフトボールをしていてプラスになったこと？**
ユニフォームを着たらシャキとなる。健康維持になっている
- **その他なんでも**
私に挑戦する人受けて立ちます、ナイターソフトやりませんか？

◁◁追跡レポート

川崎町健康ポイント制度開始

「健康づくりの施策として、独自の健康ポイントの推進を」という
一般質問（H27年第7回、3月会議 手嶋真由美議員）に対して
平成28年11月1日からスタート！

平成29年6月末現在、カード所持者数は440名

川崎町が催す事業や隣保館での健康体操をはじめ、プチ食育館などの参加で町民の皆様が健康づくりに頑張っています。

ポイントにより商品券がゲットできます。(25ポイントで1000円分、50ポイントで3000円分)

もうすぐ25ポイントを獲得される方が数十名おられるそうです。

知らなかった皆様、随時受付けていますよ。



編集 後 記

暑中お見舞い申し上げます。

「^{あおくろ}黝い石に夏の日が照りつけ、庭の地面が、
朱色に^{ねむ}睡っていた。」

中原中也の詩には、心を叩く不思議な力が
あります。

夏の真ん中に居ると「生きている」と強く感じるのは私だけでしょうか？



議員	議員	議員	議員	議員	副委員長	委員長	議長
樋口秀隆	寺田 響	小田 卓	大谷 春清	松岡 久代	手嶋 真由美	千葉 加代子	北代 俊雄